



パリでの石元泰博展開催のお知らせ

2024年6月19日（水） - 11月17日（日）

ル・バル（LE BAL）にて



石元泰博《シカゴ ビーチ》1948-52年 高知県立美術館蔵 ©高知県, 石元泰博フォトセンター

この度、フランス・パリにある写真と映像のアートセンター「ル・バル(LE BAL)」にて、高知県立美術館所蔵作品による写真家・石元泰博（いしもと やすひろ・1921-2012）の個展が開催されます。

シカゴ ニュー・バウハウス時代の初期作品をはじめ、代表的な〈桂離宮〉、〈東京〉、〈シカゴ、シカゴ〉、〈刻〉の各シリーズにフォーカスし、貴重なヴィンテージプリントを中心に展覧します。本展は、ヨーロッパにて過去最大規模で石元作品を紹介する機会となります。

ぜひともご周知・ご高覧をいただきたく、お知らせいたします。



見どころ

- 国際的に高い評価を受ける高知県ゆかりの写真家・石元泰博のヨーロッパにおける初の大規模個展です。パリ 2024 オリンピック・パラリンピック（7-9月）、アルル国際写真祭（7-9月）、パリ・フォト（11月）などの国際的イベントに重なる会期によって、広くその魅力を発信します。
- 高知県立美術館が所蔵する約 35,000 点もの石元泰博作品より、ヴィンテージプリント（撮影からほどなく制作された歴史的価値の高いプリント）を中心に、169 点を精選し、シカゴ ニュー・パウハウス時代の初期作品をはじめ、〈桂離宮〉、〈東京〉、〈シカゴ、シカゴ〉、〈刻〉シリーズを一挙公開します。
- 石元泰博フォトセンターによる調査研究成果を元に、先端的な写真展を多数手掛けてきたディアンヌ・デュフル氏（ル・バル共同ディレクター）が独自の視点で企画構成。高知県立美術館とル・バルの連携により、両洋の眼を持った写真家・石元が残した仕事の歴史的・現代的意義を探ります。

展覧会概要

展覧会名	Yasuhiro Ishimoto. Des lignes et des corps. 英題：Yasuhiro Ishimoto. Lines and Bodies. ※和訳：石元泰博 線と身体
会期	2024年6月19日（水）-11月17日（日） ※内覧会6月18日（火） 12:00 - 19:00 ※水曜は20:00まで ※月曜、火曜休館
会場	ル・バル（LE BAL）6, Impasse de la Défense, 75018 Paris, フランス
観覧料	一般 8ユーロ ※各種割引有
キュレーション	ディアンヌ・デュフル（ル・バル 共同ディレクター）、 朝倉芽生（高知県立美術館 学芸員）
出品点数	169点 ※すべて、高知県立美術館所蔵の石元泰博作品
主催	ル・バル
助成・協賛	国際交流基金、無印良品 他

ル・バル展覧会ウェブページ ※英語

<https://www.le-bal.fr/en/2024/05/yasuhiro-ishimoto-lines-and-bodies>



キュレーターより

「構造は命を伴わなければ死んでおり、命は構造を伴わなければ目に見えない。」

— ジョン・ケージ

「厳格かつ感傷を伴わない石元の眼差しは、イメージの表層に深遠で捉えがたいものを浮かび上がらせ、それらをフレームの中の空間に並び合わせる。彼は、絶えず移ろいゆく街の流れ—通行人や、遊んでいる子供たち—の中に切り込んでゆく術において極めて正確であり、イメージにおける存在と不在の緊張関係、つまり「間」の空間論理を鮮やかに掴み取る。彼の作品は、優雅で無重力のような幾何学、見えざる事実の現れ、てらいのない芸術の自明な特質に満ちている。石元は物事の本質に接近しつつも、彼が被写体との間に距離を置く抑制によって、彼のイメージには深い孤独感と無視の感覚が宿っている。シカゴや東京の風景の、驚くほど無駄のない鮮やかな美しさを見ると、彼がいかにして、「特別な“媒介者”…東洋人と西洋人の間に位置する人物、一方では、外部からエキゾチックな美しさを驚嘆と賞賛の目で見ることができ、他方では、それを精神的に自分自身の内的経験として表現し、我々に理解させることができる人物」（シュテファン・ツヴァイク）となったのかが理解できる。

ディアンヌ・デュフル（本展キュレーター）

※本展図録より引用、高知県立美術館にて和訳。



石元泰博《シカゴ 街》1948-52年 高知県立美術館蔵 ©高知県、石元泰博フォトセンター

日本国内における広報に関するお問い合わせ

高知県立美術館 学芸課 石元泰博フォトセンター担当

TEL: 088-866-8000 / FAX: 088-866-8008 / E-mail: iypc[at]kochi-bunkazaidan.or.jp

Web: iypc.moak.jp ※掲載内容は、やむを得ない事情により変更となる場合があります。



図録

書名	Ishimoto. Des lignes et des corps
価格	55 ユーロ
ページ数	216 ページ
版型	21.8 x 28.7cm
テキスト	ディアンヌ・デュフル (ル・バル 共同ディレクター)、中森康文 (アジア・ソサエティー ミュージアム・ディレクター、テート インターナショナル・アート部門シニア・キュレーター)、アガーテ・カンチェッリエーリ (写真史家、ギャラリーディレクター)、朝倉芽生 (高知県立美術館 学芸員)
発行	ル・バル、Atelier EXB
言語	仏語版／英語版 ※日本語版の出版予定はありません。

関連情報

パリ日本文化会館にて開催されている展覧会「丹下健三と隈研吾展 東京大会の建築家たち」に、当館所蔵の石元作品《桂離宮》《国立代々木競技場》ほか 11 点および、複製パネル、スライド等が出品されております。ぜひ併せてご周知・ご高覧ください。

展覧会名	KENZÔ TANGE – KENGO KUMA, Architectes des Jeux de Tokyo
会期	2024 年 5 月 2 日 (木) – 6 月 29 日 (土)
会場	パリ日本文化会館 (Maison de la culture du Japon à Paris) 101 bis Quai Jacques Chirac, 75015 Paris, フランス
主催	国際交流基金、パリ日本文化会館
共催	国立代々木競技場世界遺産登録推進協議会
キュレーター	豊川 斎赫 (千葉大学准教授)

国際交流基金ウェブページ

https://www.jpf.go.jp/j/about/world/project/2024/euro_paris/01.html

※詳細については、同展プレスリリースに記載のお問い合わせ先までお尋ねください。



石元泰博 Ishimoto Yasuhiro 1921-2012

農業移民の両親の元、アメリカ・サンフランシスコに生まれる。3歳の時に両親の郷里である高知県へ移り、高知県立農業高校卒業までの少年時代を同地で過ごす。1939年に単身渡米するも、まもなく太平洋戦争が始まり、収容所生活を経験。終戦後はシカゴのインスティテュート・オブ・デザイン（通称ニュー・パウハウス）にて、写真技法および、石元作品の基礎をなす造形感覚の訓練を積んだ。53年来日し、写真によって日本の伝統美にモダニズムを見出した〈桂離宮〉が、写真界のみならず、美術、デザイン、建築などの幅広い分野において高い評価を受ける。拠点としたシカゴや東京の街と人々を写したシリーズから、無常のモチーフに自らの死生観を託した晩年の〈刻（とき）〉に至るまで多彩な仕事を手掛け、戦後日本の芸術史において重要な足跡を残した。2020-21年、東京都写真美術館、東京オペラシティアートギャラリー、高知県立美術館にて「生誕100年 石元泰博写真展」を開催。

ル・バル LE BAL

2010年、ディアンヌ・デュフル、クリスティーヌ・ヴィダル、レイモン・デパルドンによって設立。

写真、ビデオ、映画、ニュー・メディアといった現代におけるあらゆる形体の映像に特化した、独立した展覧会・教育・研究センター。献身的かつ実験的な研究機関として、アーティスト、研究者、キュレーター、出版社、そして一般の人々を巻き込みながら、現実にもとづいた新しいナラティブの形を探求している。政治的および美的な問題を結び付けた創作を行うアーティストにフォーカスした独自かつ厳格なプログラムは、国際的な評価を得ている。展覧会およびそれに付随する書籍は、若手の創作、見過ごされてきた人物と作品、社会における映像の状況に関する問いかけ、という3つのテーマを中心に展開している。今回の石元泰博展は、ル・バルにおける39回目の展覧会企画。le-bal.fr



Exhibition view Judith Joy Ross - Photographs 1978 - 2015, LE BAL, 2022
© Marc Domage

石元泰博フォトセンター Ishimoto Yasuhiro Photo Center

2001年高知県立美術館での回顧展開催をきっかけに、写真家・石元泰博およびその遺族が、プリント34,753点、ネガフィルム約100,000枚、ポジフィルム枚55,000枚をはじめ、蔵書やカメラ機材、交流のあった作家の作品等を高知県に寄贈。この「石元泰博コレクション」の網羅的で総合的な価値を高める目的のもと、石元氏没後の2013年に「高知県立美術館 石元泰博フォトセンター」を発足。貴重な石元コレクションを社会の共有財産とするために、作品資料を保存管理し研究する「深める」活動、展覧会開催や著作権管理などの「広める」活動、氏の思想と作品に親しんでもらうための「つなぐ」活動など、多角的な活動を行っている。iypc.moak.jp





広報画像 Press Visuals

- ・ 図版の無断掲載はご遠慮ください。
- ・ トリミング、色調変更、文字のせ等の加工はできません。
- ・ 作品キャプションおよび下記クレジット（和英いずれか）の表記をお願いします。

©高知県, 石元泰博フォトセンター

©Kochi Prefecture, Ishimoto Yasuhiro Photo Center



1



2



3



4



5



6



7



8



9



10



11



12



13



14



15



16

日本国内における広報に関するお問い合わせ

高知県立美術館 学芸課 石元泰博フォトセンター担当

TEL: 088-866-8000 / FAX: 088-866-8008 / E-mail: [iypc\[at\]kochi-bunkazaidan.or.jp](mailto:iypc[at]kochi-bunkazaidan.or.jp)

Web: iypc.moak.jp ※掲載内容は、やむを得ない事情により変更となる場合があります。



作品キャプション

- 表紙 石元泰博《シカゴ ビーチ》1948-52年 高知県立美術館蔵
1. 石元泰博《シカゴ こども》1948-52年 高知県立美術館蔵
 2. 石元泰博《東京 街》1953-57年 高知県立美術館蔵
 3. 石元泰博《東京 街》1963-70年 高知県立美術館蔵
 4. 石元泰博《シカゴ ビーチ》1948-52年 高知県立美術館蔵
 5. 石元泰博《シカゴ 街》1959-61年 高知県立美術館蔵
 6. 石元泰博《東京 街》1953-58年 高知県立美術館蔵
 7. 石元泰博《シカゴ 雪と扉》1948-52年 高知県立美術館蔵
 8. 石元泰博《シカゴ 街》1948-52年 高知県立美術館蔵
 9. 石元泰博《シカゴ ビーチ》1948-52年 高知県立美術館蔵
 10. 石元泰博《シカゴ 街》1960年頃 高知県立美術館蔵
 11. 石元泰博《人のながれ》1999年頃 高知県立美術館蔵
 12. 石元泰博《雪のあしあと》1994年 高知県立美術館蔵
 13. 石元泰博《シカゴ ハロウィン》1948-52年 高知県立美術館蔵
 14. 石元泰博《落ち葉》1991年頃 高知県立美術館蔵
 15. 石元泰博《東京 街》1957年頃 高知県立美術館蔵
 16. 石元泰博《桂離宮 新御殿東面と芝庭》1954年 高知県立美術館蔵